

受付番号	4	受付月日	令和6年8月15日 午前 8時39分
------	---	------	-----------------------

東郷町議会議長 加藤 宏明 殿

東郷町議会議員 会派名 日本共産党東郷町議員団
議席番号 15番氏名 門原武志

一 般 質 問 通 告 書

東郷町議会会議規則第59条第2項の規定により、次の事項について質問（一問一答方式・一括質問方式）したいので通告します。

記

No. 2 - 1

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 保育について	(1) 保育士配置基準の見直しについて ア 令和6年度から3歳児について保育士の配置基準が子どもおおむね20人につき1人以上（20：1）からおおむね15人につき1人以上（15：1）に、4・5歳児については30：1から25：1に変更された。一方、この基準については期限の定めがない経過措置があり、当分の間従来の基準による運営が認められている。本町において新しい配置基準で運営する見通しについて伺う。 イ 国は、令和7年度以降に1歳児について配置基準を6：1から5：1に見直す方針を示した（「こども未来戦略」令和5年12月）。一方、愛知県は5：1で運営する場合、市町村への補助をしている。町内の保育園・認定こども園での1歳児への保育士の配置の現状と今後の見通しについて伺う。 (2) 猛暑のもとでの戸外遊びについて ア 町立保育園では園庭に日よけやテントを設置し、その下で子どもを遊ばせているが、日よけは保育士が材料を使って手作りで設置しているとのこと。一方、中部保育園園舎2階で運営されている児童発達支援事業所ハーモニーではひさしの下がちょうど日陰になり、そこでプール遊びなどを行っているとのことである。猛烈な暑さのもとでは戸外遊びは中止すべきだが、完全になくすわけにはいかない。町内の保育園・認定こども園で夏季の戸外遊びの状況について伺う。	町長 担当部長

（注）要旨は、具体的に記載すること。

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
2 避難所について	イ 町立保育園ではコロナ禍以降、プールを使用していない。その理由について伺う。また民間の保育園や認定こども園でのプールを使った遊びの状況について伺う。 (1) 東郷高校を避難所にしてはどうか ア 日進市は県立日進高校などを「地域避難所」に指定している。みよし市は県立三好高校を「広域避難場所兼避難所」にしている。本町も県立東郷高校を避難所等にしてはどうか。 (2) 町外にある避難所にも避難できることをお知らせすることについて ア 日進市は市外にある名古屋市立名東高校を「地域避難所」に指定し、そのことを公開している。災害発生時の安全確保のためには、自治体の区域に関係なくどこへでも避難できることは当然だが、町外の避難所であっても普段からお知らせしておくことは、災害発生時に生命を守る行動を取るための判断をするために重要だ。東郷町が公開している避難所マップなどに町外の近くにある避難場所（名古屋市立神の倉中学校など）を掲載し、町としても指定緊急避難場所にしてはどうか。	町長 担当部長
3 ごみ出し支援について	(1) ごみ出し支援について研究の成果は ア これまで家庭のごみや資源を所定の場所まで運ぶことが難しい人への支援策を提案してきた。事業の効果や継続性の把握とか、先進地の事例の研究とか答弁されたが、研究の成果はあったか。 (2) 日進市のエコサポート（ごみ出し支援）は参考になるのではないか ア 日進市の「エコサポート（ごみ出し支援）」は、家庭からのごみ及び資源を排出することが困難な高齢者のごみの排出を支援するための事業で、介護保険の要介護認定を受けているひとり暮らしの高齢者又は高齢者のみの世帯で、親族、近隣者等の協力を得ることが困難な方を対象に利用者負担が無料で実施されている。支援の必要性は地域包括支援センターが判定し、ごみ等の排出作業はシルバー人材センターに委託している。参考にしてはどうか。	町長 担当部長

（注）要旨は、具体的に記載すること。